

地元が活性化することが、ちゅうしんの願いです。

中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組みの状況について

1. 中小企業(小規模事業者を含む。以下同じ。)の経営支援に関する取組み方針

平成30年度から新たにスタートさせた第10次3か年計画『ちゅうしんサポート力深化×進化2018』では、3つの重点戦略の一番目に「支援力・営業力の深化×進化」を掲げ、中小企業における「起業・創業・成長・再生・事業承継」といった様々なライフステージでの課題解決・成長支援等の取組みを強化し、地域活性化や地域の持続的な発展を目指しております。

現在の厳しい経済環境下において、当金庫が地域金融機関として果たすべき役割は大きくそのためにも円滑な資金供給などの地域密着型金融をさらに推進することが重要であります。そこで、地域密着型金融の深化として、次の3項目について重点的に取り組んでまいります。

- ①お取引先企業に対するコンサルティング機能の発揮
- ②地域の面的再生へ積極的な参画
- ③地域やお客様に対する積極的な情報発信

また、当金庫は、平成25年2月1日に中小企業の経営力強化を図る目的で施行された「中小企業経営力強化支援法」に基づく「経営革新等支援機関」の認定を受けました。

当金庫は、地域経済の活性化を図るべくお客様の経営改善支援等に取り組んでまいりましたが、「経営革新等支援機関」として新たな支援手段を加えることで、今後とも地域のお客様からの相談に積極的に対応し、取引先企業の皆様の経営課

題に対して専門性の高い経営支援を行い、地域経済の活性化に積極的に取り組んでまいります。

なお、時限立法として平成21年12月に施行された中小企業金融円滑化法は、平成25年3月をもって期限を迎えましたが、当金庫では、これまでと同様に金融円滑化に向けて全役職員をあげて積極的に取り組む所存であります。

当金庫では、今後も中小企業の経営の改善及び地域の活性化に向けた取組みを強化するため、「金融仲介機能のベンチマーク」を客観的な指標として活用し、お客様の経営支援に貢献してまいります。

※「金融仲介機能のベンチマーク」とは

平成28年9月、金融庁は、金融機関における金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価できる指標として、公表しました。

全ての金融機関が金融仲介の取組みの進捗状況や課題等を客観的に評価するため活用可能な「共通ベンチマーク」と、各金融機関が自身の事業戦略やビジネスモデル等を踏まえて選択できる「選択ベンチマーク」と、自金庫の金融仲介の取組みをわかりやすくお客様に伝えるための「独自ベンチマーク」から構成されています。

2. 中小企業の経営支援に関する態勢整備の状況

健全な事業を営む中小企業に対して必要な資金を円滑に供給していくことは、当金庫の最も重要な役割の一つであり、当金庫には金融仲介機能を積極的に発揮していくことを強く期待されております。当金庫は中小企業の規模に応じた経営相談・経営指導といったコンサルティング機能の発揮に努めると共に、地域の特性を踏まえた経営支援については外部関係機関とも連携を取りながら従前より積極的な対応を実施しております。また、本部に中小企業診断士資格を取得した経営支援担当者を2名配属し、取引先中小企業の様々な課題に対して、専門的なアドバイスが出来る態勢とし、下記の施策に積極的に取り組んでおります。

- きめ細やかな経営相談、経営指導、経営改善計画書の策定や計画変更などへの助言や提案等を通じて金庫のコンサルティング機能を発揮すること。
- 継続的な企業訪問等を通じて企業の技術力・販売力や経営者の資質といった定性的な情報を含む経営実態の十分な把握に努め、適切かつ積極的に中小企業への資金供給を実施すること。

- ビジネスマッチングやM&Aに関する情報等、金融機関が持つ情報機能やネットワークを活用した支援への取組みを実施すること。
- ライフサイクル(創業・新事業支援・成長支援・事業再生・事業承継)に応じた各段階におけるきめ細やかな支援を実施すること。

●産学官の連携

平成22年度より、中小企業支援ネットワーク、奈良県植物機能活用クラスター協議会、奈良県農商工連携推進研究会の会員となり、また平成28年3月には「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」に参画し、平成28年度より奈良工業高等専門学校において地域理解教育の一環として、本科3年生5学科共通の政治経済特別講義を当金庫取引先企業5社と実施し、産学官連携の強化を図っております。

●「奈良県中小企業支援ネットワーク」への参加

奈良県中小企業支援ネットワークは、奈良県信用保証協会が事務局となり、地域全体の経営改善、再生スキルの向上を

図っていくため、平成24年11月に18機関により構築されました。参加各機関の連携を通じて、普段からの情報交換や経営支援施策、再生事例の共有等を行い、経営改善や再生の目線を揃えることで、経営改善や再生のインフラを醸成していますが、当金庫は主要幹事の一員として参加しております。

●「奈良まほろば再生ファンド」を活用した企業再生に関する業務協力協定締結

平成25年2月14日、株式会社リサ・パートナーズならびにリサ企業再生債権回収株式会社と「奈良まほろば再生ファンド」を活用した企業再生に関する業務協力協定を締結いたしました。

本ファンドは、当金庫を含む県内に本店を有する4金融機関と株式会社商工組合中央金庫奈良支店、奈良県中小企業再生支援協議会および奈良県信用保証協会が連携することにより、地域の中小企業のみならず再生に向けた取組みをバックアップしてまいります。

●商工組合中央金庫との業務協力締結

平成25年5月1日、「地域金融機関」と「公的金融機関」双方の業務特性を生かして地域における中小企業に係る金融円滑化を図り、地域経済の発展に貢献することを目的に当金庫を含む県内3信用金庫が株式会社商工組合中央金庫と業務協力を締結いたしました。

●「地域プラットフォーム」への参画

奈良県地域産業振興センターを主管とする奈良県地域産業振興プラットフォームと、奈良県商工会連合会を主管とする奈良県中小企業・小規模事業者支援センターという2つの地域プラットフォームに支援機関として参画しております。

地域プラットフォームとは、経済産業省が中小企業支援機

関の連携体として整備に力を入れているもので、国や公的機関の施策の紹介、専門家派遣、経営革新セミナーの開催などを行い、中小企業の経営力強化を総合的に支援するものです。

●奈良県中小企業家同友会と「中小企業等支援に関する覚書」を締結

平成26年5月28日、奈良県中小企業家同友会と相互に連携して中小企業の活動を支援することを目的とする「中小企業等支援に関する覚書」を締結いたしました。

●日本政策金融公庫と「業務連携・協力に関する覚書」を締結

平成27年7月1日、日本政策金融公庫奈良支店と、国民生活事業、中小企業事業、農林水産事業の3事業すべての分野で業務提携にかかる「業務連携・協力に関する覚書」を締結しました。

覚書締結に併せて、創業者を対象とした新たな連携スキームを構築しました。この取組みは、企業の成長ステージ（創業期→成長期→成熟期→再生期）毎に、両機関が連携し企業支援を行うもので、県内初のスキームになります。

●奈良新聞社、47CLUBと「地域産業振興に関する連携協定」を締結

平成30年9月5日、地域特産品の付加価値向上を基軸とした地域経済の活性化を目的として奈良新聞社及び47CLUBと、「地域産業振興に関する連携協定」を締結しました。

47CLUBは、全国の地方新聞社45社46紙などが共同出資する通信販売会社で、同社との連携は、当金庫取引先企業の販路開拓に対する支援を強化するものであります。

3. 中小企業の経営支援に関する取組み状況

【創業支援について】

当金庫では、地域内で新しく起業、創業される事業者のかたへのサポートを、地域経済の活性化に繋がる重要な取り組みであると位置づけ、推進しております。

■創業融資に対する取組み

当金庫では新規開業を目指す起業のかたや、創業間もない事業者のかたが必要とする事業資金に対する融資に適切に対応しております。また融資による資金の支援に留まらず、創業計画書の作成支援や財務面の支援、創業時に起こる様々な経営課題の解決に向けた適切なアドバイスの実施など、創業者のかたへの伴走型支援に取り組んでおります。

当金庫が関与した創業、第二創業の※件数（共通ベンチマーク3）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
創業件数	26件	28件	75件
第二創業件数	2件	1件	3件

※創業融資取組件数（開業後5年以内の事業者に初めて取り組んだ融資の件数）

■創業支援における連携の取組み

当金庫では、創業を目指す事業者のかたが、資金調達や各種経営相談をワンストップで行えるよう、自治体や商工団体との連携、日本政策金融公庫との創業分野における連携スキームの構築、様々な分野の専門家との連携など、幅広いネットワークを活用することで、取引先事業者の創業、第二創業を積極的に支援しています。

【成長支援について】

■『ちゅうしん地域中小企業振興助成金制度（愛称：グッドサポート）』の継続的取組み

●第11回ちゅうしん地域中小企業振興助成金制度の実施

地元の中小企業の応援団として地域経済の活性化に向けての取組みを一層強化することを目的に『ちゅうしん地域中小企業振興助成金制度』を平成20年6月に創設。

平成30年度は9月～11月までの募集期間に県内全域から137先もの応募があり、4次にわたる審査の結果、10社

に対して総額600万円（1社当たり30万円～200万円）の助成金を交付いたしました。

なお、この助成金制度は今回で11回目となり、過去11年間で107社へ8,340万円を助成し、奈良県内での中小企業の起業や新分野への進出をサポートしています。

回数	応募先数	助成先数	助成総額	グッドサポート大賞テーマ
第1回（平成20年度）	83先	11先	900万円	部分非伸縮ニット技術による新規衣料の事業化
第2回（平成21年度）	77先	7先	500万円	国内初の耳鼻科用検体採取機器の商品化
第3回（平成22年度）	79先	9先	700万円	高性能・レアメタルフリー積層型圧電アクチュエータの開発
第4回（平成23年度）	92先	9先	710万円	革新的高速混練造粒機の電池業界への製造・販売
第5回（平成24年度）	105先	9先	710万円	新しい紙おむつ廃棄用テープの開発
第6回（平成25年度）	97先	10先	810万円	発泡ウレタンを含浸したフラップホイールの開発事業
第7回（平成26年度）	118先	10先	780万円	医療機器（構成小物）の新規加工技術構築
第8回（平成27年度）	93先	10先	810万円	ファクトリー化による贈答品市場の需要獲得
第9回（平成28年度）	117先	10先	810万円	業界初がん新治療法のための発熱インプラントの試作開発
第10回（平成29年度）	111先	12先	1,010万円	高度医療機器・分析器材用に必要な超精密部品製造システムの構築
第11回（平成30年度）	137先	10先	600万円	「靴下編機用針折れ検知システム」の開発による革新的サービス体制の確立
計	1,109先	107先	8,340万円	

＜応募先数、助成先数、助成金額は独自ベンチマーク＞

■第11回 ちゅうしん地域中小企業振興助成金制度 助成対象企業一覧（応募137先）

	企業名（所在地）	申請テーマ
グッドサポート大賞	(株)テルミック（広陵町）	「靴下編機用針折れ検知システム」の開発による革新的サービス体制の確立
金賞	金陽製菓(株)（五條市）	純国産の生菓トウキを用いた初めての本格健康ドリンクの開発
銀賞	斑鳩産業(株)（斑鳩町）	巻込力UP!地域経済を循環させる観光事業の新たな仕組み
	大和化学工業(株)（広陵町）	低圧射出成形品で成形理論の概念を破り新事業を展開する。
	片上醤油(御所市)	製麹工程刷新による高品質「淡色天然醸造醤油(うすくち)」の開発
銅賞	奈良ワイン(香芝市)	純奈良県産のワインの製造
	(株)塚英プラスチック工業(田原本町)	偽装防止性ゆえ難成型が要求される「越前かに」の原産地証明タグの製造プロセス革新
	マジカナテック(株)（葛城市）	「屋根安全金具」の開発事業
	(株)コクブ(橿原市)	ステンレス製ねじの耐食性向上
	(有)上田玄米茶屋(大和高田市)	大和トウキ茶の製造及びアメリカへの輸出取組による世界へ向けた大和トウキ茶市場の拡大への取組み



■「ならちゅうしん経営研究会」、「ちゅうしんビジネスクラブ(略称CBC)」会員企業に対する経営サポート強化

お取引先企業を支援するため、異業種交流組織の「ならちゅうしん経営研究会」、「ちゅうしんビジネスクラブ」を中心とした経営支援も長年にわたり行っています。



ならちゅうしん経営研究会
昭和63年発足 会員企業数37社



ちゅうしんビジネスクラブ
平成3年発足 会員企業数327社

当金庫が主催する各種中小企業・小規模企業向けセミナーの参加者数(独自ベンチマーク)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
CBC 主催セミナーの参加者数 (新入社員セミナー・企業視察・ ちゅうしんビジネススクール・ 新春セミナー・女性セミナー等) ならちゅうしん経営研究会の参加 者数(総会・例会等)	415人	476人	575人

●経営セミナーの実施

当金庫の取引先事業所で組織する“ちゅうしんビジネスクラブ”会員を対象に、平成31年1月にヘルスケアオンライン株式会社 代表取締役 谷田昭吾氏をお迎えし、講演会を開催いたしました。



●第5期 ちゅうしんビジネススクールの実施

ちゅうしんビジネスクラブ会員の若手経営者層を対象に、平成30年7月から11月までの全5回にわたり、経営知識を体系的に学んでいただきました。



●ちゅうしんビジネススクール4期合同卒業生講座・交流会の実施

平成30年4月、“ちゅうしんビジネススクール”の4期合同の卒業生が集うセミナーならびに交流会を実施。24名の参加者により「あなたの戦略が劇的に効果を発揮するたった一つのコツ」をテーマとした活発なグループ討議が行われ、交流会では期を超えて情報交換および親交を深めていただきました。

■ちゅうしんサポートステーションの機能強化

お客様から選ばれるための金融機関として、様々な顧客ニーズに的確に対応することを目的として、ちゅうしんサポートステーションを平成17年に設立しました。さらなる顧客サービスの向上をめざし、システム改良を重ね、全営業店のノウハウや地域情報などを一元管理し共有化を図るなど体制の整備を行うとともに、お客様同士をつなぐ、ビジネスマッチングを推進しております。

ちゅうしんサポートステーション登録件数及びマッチング成約件数(独自ベンチマーク)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
登録件数	285件	548件	676件
マッチング成約件数	67件	92件	145件

■奈良県内への企業誘致に対する取組み

地域内に事業所を誘致することは、経済活動の拠点の創出、働く場所の創出に繋がり、地域経済の活性化には不可欠な取組みです。当金庫では、営業エリア内への本社、営業所、事務所、工場、店舗の新規進出を促進するために、奈良県と連携した企業立地施策の活用や、立地にかかる不動産情報の提供、施設建築にかかる資金の融資に注力しております。

地元への企業誘致にかかる融資取組件数(選択ベンチマーク17)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
企業誘致にかかる 融資取組件数	13件	23件	15件

■公的機関や支援機関が実施する中小企業・小規模企業支援施策の活用推進

公的機関や支援機関が実施する中小企業・小規模企業支援施策の活用件数(独自ベンチマーク)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
・各種補助金の活用件数 ・各種専門家派遣制度の活用件数 ・奈良県よる支援拠点への相談件数 ・奈良県による支援施策の活用件数 ・その他中小企業・小規模企業支援 策の活用件数	110件	140件	256件

●国・地方公共団体による中小企業向け政策や制度等の活用支援

当金庫は経営革新等支援機関として、経済産業省による中小企業に対する支援施策である「ものづくり補助金」や奈良県中小企業融資制度である「チャレンジ応援資金(知事認定枠)」等の申請、経営革新等支援機関として中小企業等経営強化法による経営力向上計画の策定などを積極的に支援しております。

地域社会の再生・活性化をめざして

●ミラサポ（未来の企業☆応援サイト）を活用した専門家派遣の実施

当金庫は、経済産業省が主催するポータルサイトであるミラサポによる専門家派遣制度（中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援事業）を活用して、地域中小企業の様々な経営課題に対して知見豊かな専門家による無料相談を実施しております。

●奈良県よろず支援拠点による無料相談会の実施

平成26年6月に公益財団法人奈良県地域産業振興センター内に設置された奈良県よろず支援拠点との連携を強化しており、平成26年12月より奈良県よろず支援拠点のコーディネーターを当金庫の本店や支店に招いての出張無料相談会を実施し多くのお取引先企業に利用頂いております。



■近畿経済産業局、発明協会との「知財ビジネスマッチング事業」の実施

中小企業が大企業の保有する開放特許等を活用し、新商品開発や新事業展開へつなげるため、技術力を有するお取引先企業に対し、大企業とのマッチング機会を提供しております。

大企業の特許を奈良県発明協会と共にお取引先企業に紹介し、マッチングを図っております。

平成29年度に続き、平成30年度もヒアリングによる中小企業のニーズ発掘事業を行い、お取引先企業2社と面談し、お取引先企業が抱える経営課題の解決に取り組んでおります。

■営業地域を越えた信用金庫間の連携

当金庫と城南信用金庫（東京都）、大垣西濃信用金庫（岐阜県）の三信金において営業地域を越えた業務提携に関する協定を平成28年12月に締結。これにより、お取引先に対しての経営支援、ビジネスマッチング支援等がさらに促進されることになりました。その事業の一環として、平成30年2月には城南信用金庫主催「2018 よい仕事おこしフェア」実行委員会に参画、奈良県で実行委員会を開催しました。

更に、信用金庫による地方創生、中小企業の発展を目的として、平成30年12月より始動した「よい仕事おこしネットワーク」に実行委員として参画しております。

【事業承継支援への取組み】

当金庫は、雇用の担い手、多様な技術・技能の担い手として地域経済を支える取引先中小企業・小規模事業者の円滑な事業承継の支援に注力しております。取引先企業の経営者、後継者双方にとっての良き相談相手になると共に、事業承継支援の体制整備を図るため、平成30年6月に発足した奈良県事業承継ネットワークにも参画し各支援機関との連携を強化しております。

■親族内承継、従業員承継に対する取組み

親族内承継、従業員承継を進める取引先に対しては、前述の「ちゅうしんビジネススクール」による後継者育成支援や、経営の承継に対する支援、事業承継税制の活用支援など、取引先企業毎に抱える課題の解決をサポートしております。

当金庫が関与した事業承継支援の件数 〈選択ベンチマーク21〉

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業承継支援件数	26件	30件	34件

■第三者承継（M&A）に対する取組み

会社内に後継者が不在の取引先に対しては、これまでから信金キャピタル株式会社、株式会社日本M&Aセンターと提携した支援を展開していましたが、平成27年4月よりは、奈良商工会議所内に設置された奈良県事業引継ぎ支援センターと連携し、事業承継支援の裾野を広げております。また平成31年3月には、中小・小規模事業者向けのM&A支援を得意とする

株式会社トランビ、株式会社パトonzと相次いで提携し、取引先企業の後継ぎ探しに対する支援を強化しております。

当金庫が関与したM&A支援の件数 〈選択ベンチマーク19〉

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
M&A支援件数	1件	2件	2件

【事業性評価融資への取組み】

地域の高齢化や人口減少が進展するなかで、当金庫のビジネスモデルである「地域の活性化」を実践するにあたり、当金庫が金融仲介機能を発揮し、地域の中小企業の活性化による地域の雇用創出や賃金の改善に取り組む必要があります。こうしたなか、中小零細企業に対する、よりきめ細やかで円滑な資金供給を行うために、財務データ等の過去の実績や担保・保証に必要以上に依存することなく、事業内容や成長可能性などを適切に評価し、その企業の課題を克服し強みを伸ばすことに焦点を充てた融資への仕組みづくりに取り組んでいます。

【「経営者保証に関するガイドライン」への取組み】

当金庫は、地域の中小企業に必要な資金を安定的に供給し、地域経済の発展に寄与することが、事業地域が限定された協同組織金融機関である信用金庫にとって最も重要な社会的使命であると認識し、地域金融の円滑化に全力を傾注して取り組んでまいりました。また中小企業への、ご融資の際にご提供いただく個人保証につきましても、ご契約時に保証のご意思を慎重に確認させていただくとともに、保証契約期間中も保証内容のお問い合わせに関して、適切な対応に努めてまいりました。

平成26年2月1日より、経営者保証に関するガイドライン研究会(全国銀行協会及び日本商工会議所が事務局)が公表した「経営者保証に関するガイドライン」の適用が開始されました。

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客さまからお借入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するための態勢を整備しています。また、経営者保証の必要性については、お客さまとの丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等の状況を把握し、同ガイドラインの記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めています。

なお、平成30年度に当金庫において、新規に無保証で融資をした件数は768件、新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合は19.4%、保証契約を解除した件数は3件、同ガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数(当金庫をメイン金融機関として実施したものに限り)は0件です。

4. 地域の活性化に関する取組み状況

■地域の面的再生への取組み

●田原本町、王寺町、斑鳩町と「地方創生に関する包括連携協定」を締結
平成28年9月27日に田原本町、平成28年10月5日に王寺町、平成28年10月11日に斑鳩町と、相次いで地方創生に関する包括連携協定を締結しました。これは地域経済の活性化及び人口減少社会における地域の持続的発展をめざし、自治体と様々な分野での連携・協力を図っていくものです。

●「雇用分野における地域金融機関と奈良県及び奈良労働局との包括連携に関する協定」を締結
平成29年3月28日、奈良県内における雇用の安定、求職者の就労促進及び事業所の人材確保を図ることを目的として、県内の他3金融機関、奈良県、奈良労働局と、包括連携に関する協定を締結しました。

●コミュニティ・ビジネスやNPOへの支援・融資

「なら・みらい創造プロジェクト」

奈良NPOセンターと協働で奈良を元気に活性化するコミュニティファンド“なら・未来創造基金”を平成15年に創設し、平成23年度までの9年間に57団体に対して、1,300万円の活動資金や研究資金をサポートしてきました。平成24年度からは奈良県の地域貢献サポート基金のスキームを活用し、地元のNPOやボランティア団体を応援する「なら・みらい創造プロジェクト」として実施、毎年5つの団体に対して総額100万円をサポートしており、前身の制度と合わせると平成30年度までの16年間で92団体に対して総額2,000万円の助成を行っています。



村井副知事 高田理事長

特定非営利活動法人 グリーンスポーツ奈良
やまと郡山環境を良くする市民の会
特定非営利活動法人 日本こども支援協会
特定非営利活動法人 環境市民ネットワーク天理
高畑自然教室

平成30年度助成対象団体

「なら・ソーシャルビジネスコンテスト」

社会的な課題に対し、ビジネスの手法を用いて解決していくソーシャルビジネス事業が目玉を集める中、「なら・ソーシャルビジネスコンテスト」を奈良NPOセンターと協働で企画、地域の問題を解決するビジネスプランコンペを平成23年度にスタートしました。平成30年度の第8回には、計12件の応募があり、「なら・ソーシャルビジネス大賞」には、不登校問題解消のためのフリースクールの運営をテーマとする「奈良スコレ」が選ばれました。



奈良SB大賞・奈良スコレ
優秀賞・未来のオトナ計画
// 伝統文化を次世代へつたえる会
ならイノベーション・大塚高野街道保存会
田原本町長賞・株式会社リールステージ
奈良NPOセンター賞・子育て支援グループtocoToco

●「NPO法人との 地元で着実に活動を展開しておられるNPO法人(奈良NPOセンター、関西ワンディッシュエイド協会、ならチャレンジド、連携強化」奈良ストップ温暖化の会、ぷろぼの等)との連携を強化することにより、地域の活性化をサポートしています。

■地域活性化につながる多様なサービスの提供

●少子化問題への対応

(多子世帯優遇商品、赤ちゃん世帯優遇商品の推進)

かねてより奈良県の少子化対策運動に賛同し、当金庫オリジナルの多子世帯優遇応援商品を取り扱い、関西子育て世帯応援事業として協力しています。

●環境を意識した商品の発売

ハイブリッド車、クリーンディーゼル車、電気自動車を対象とした「ちゅうしんecoマイカーローン」「ちゅうしんカーライフプラン(エコカー型)」の取扱いを行っています。また、エコ関連リフォームおよびバリアフリー関連工事に対応した「ちゅうしんecoリフォームローン」や「ちゅうしんリフォームプラン(エコ型)」も取扱っています。

地域社会の一員としての活動について

CSR(企業の社会的責任)推進は信用金庫の使命です。

CSRがますますクローズアップされる中、当金庫ではかねてより地域貢献活動・社会貢献活動を推進してまいりました。主な活動を次にご紹介いたします。

■障がいのある人たちとの交流・支援(平成4年～)

●障がいのある人たちの支援施設「たんぼぼの家」との交流(平成4年～)
障がいのある人たちの芸術文化活動を支援しています。

●県立高等養護学校の皆さんとの交流(平成24年～)

生徒さんが当金庫イベントの受付や清掃ボランティアとして活躍、また生徒さんの美術作品展を本店ロビーで毎年開催しています。

本店ロビーでの「特別支援学校アート展」



●「特別支援学校アート展」に協賛(平成27年～)

県内の特別支援学校の生徒さんの美術作品を一堂に集めたアート展に協賛しています。

●“特別支援学校との交流・協働”が評価され第22回信用金庫社会貢献賞「会長賞」を受賞(令和元年)

特別支援学校の生徒さんと当金庫の役職員との交流、協働が認められ、信用金庫社会貢献賞の最高の栄誉である「会長賞」を受賞しました。

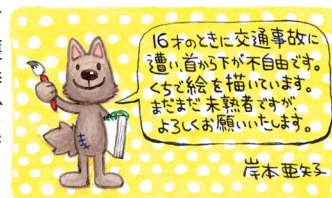


●障がい者支援活動が認められニッキン賞を受賞(平成29年)
当金庫の25年以上にわたる障がいのある方たちとの交流・支援活動が認められ、全金融機関の中から唯一、2016年度「ニッキン賞」を受賞しました。

●障がい者のアート作品をサービス品に採用(平成8年～)

当金庫ではかねてより、障がいのある方のイラストを活用したサービス品を作製してきましたが、平成28年からは4年連続で高等養護学校卒業生などのイラストを使った商品を作製しております。

平成30年の夏には創立70周年記念定期通帳のデザインを岸本亜矢子さん(県立明日香養護学校卒)に依頼、同時に顧客向けのサービス品も同デザインで作製しました。



■NPOローンの創設(平成12年～)

県内で活動されるNPO法人を資金的にサポートする目的で、全国に先駆けてNPOローンを創設しました。

■「なら・ちゅうしん基金の設立」(平成13年～)

社会貢献活動を推進するためのシードマネーづくりとして、役員個人と信用金庫本体からのマッチングギフト方式で拠出金を積み立て、各方面の社会貢献に役立てています。

役員(希望者のみ)の
給与から毎月300円 + 金庫本体が役員分と
同額を拠出

なら・ちゅうしん基金
年間約200万円を積み立て、社会貢献に活用

※「なら・みらい創造プロジェクト」や
「なら・ソーシャルビジネスコンテスト」
等の原資となっています。



高田理事長 荒井知事



■ちゅうしんボランティアクラブ(平成13年～)

当金庫の役職員で組織されたボランティア団体で、奈良県ボランティアネットの登録団体です。使用済み切手等の回収、地元自治体と連携した清掃活動などを行っています。

■環境問題への取組み(平成15年～)

●再生可能エネルギーの普及促進(平成26年～)

再生可能エネルギーの普及を目指す一般社団法人 地域未来エネルギー奈良の活動に賛同し、太陽光発電所建設への出資や融資、人的参画も行っていきます。平成30年12月には二号機も稼働いたしました。



恋の窪未来発電所@ならコープ
(年間発電量58,258kwh(平成30年度))

●川上村水源地への植樹(平成27年～)

川上村の水源環境保全事業に協力し、水源保全・景観保全を目的に当金庫の役職員が大滝ダム周辺の白屋地区に山桜や紅葉など十数種類の幼木を植樹しています。

●ほか、環境を意識した商品の発売(ちゅうしんecoリフォームローンなど)や夏のエコスタイル運動(クールビズ)を実施しています。

■クリーンキャンペーン(平成16年～)

ちゅうしんボランティアクラブが中心になり、地元の市や町への感謝の気持ちを含めて店舗所在の自治体と連携して毎年11月に地域の清掃活動を行っています。そして、参加者1名につき500円を「なら・ちゅうしん基金」から拠出して、活動地の社会福祉協議会に対する寄付も行っています。また、平成24年からは高等養護学校の生徒さんにもお手伝いいただいております。



クリーンCP 本店地区/唐古鍵遺跡周辺

■チャリティーコンサート(平成3年～)

プロの音楽家を招いて地元のホールでコンサートを6月の「信用金庫の日」に時期をあわせ開催。チャリティー募金により社会貢献活動を推進しております。令和元年は、チャリティー募金を奈良県社会福祉協議会と橿原市社会福祉協議会に寄贈いたしました。

チャリティー贈呈式(令和元年6月20日)



左から 奈良県社会福祉協議会 当金庫 橿原市社会福祉協議会 中常務理事 高田理事長 岩田常務理事



出演：1966カルテット・PYLON(令和元年6月15日)／橿原文化会館大ホール

「信用金庫の日」：信用金庫法が公布された昭和26年6月15日にちなんで、全国の信用金庫が社会貢献活動等を行っています。

■奈良マラソンへのボランティアスタッフ参加(平成22年～)

地元奈良の初冬のビッグイベントとしてすっかり定着いたしました「奈良マラソン」ですが、当金庫からも選手としてはもちろん沿道整理のボランティアスタッフとして毎年多くの役職員が参加しています。



■地域イベント等への参画(創業時～)

地域イベントの盛り上げ役の一員として、店舗所在の各地元の夏祭りや商工まつり、スポーツイベントなどに参加、協力しています。その代表例が本店地元の田原本の「ぎおん祭り」でよしもとの芸人さんを招いての「ちゅうしんのタベ」とお子様向けのゲームスポット「ちびっ子広場」を催しています。



「ちゅうしんのタベ」として協賛

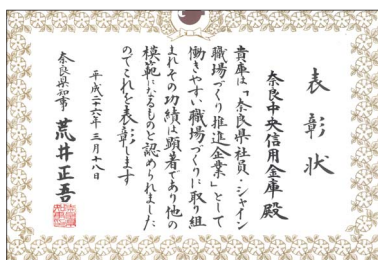


ちびっ子広場

田原本「ぎおん祭り」

■働きやすい職場づくりへの取組み

仕事と生活の調和のとれた企業を県内に広げていくことを目的として奈良県が実施している「社員・シャイン職場づくり推進企業」事業において、当金庫が女性の昇進昇格やパートナーの正社員への登用などに取り組んでいる点が高く評価され、平成25年度総合表彰を受けました。



■全役職員が認知症サポーター養成講座を受講(平成23年～)

■共同募金協力型飲料自動販売機の設置(平成21年～)

■奈良県がん検診応援団への参加(平成22年～)

当金庫は下記のとおり
信用金庫社会貢献賞を
3度受賞しています。

第5回
信用金庫社会貢献賞 特別賞(平成14年)
「NPOローンの創設」

第8回
信用金庫社会貢献賞
地域再生しんきん運動 優秀賞(平成17年)
「なら・未来創造基金の創設」

第22回
信用金庫社会貢献賞・会長賞(令和元年)
「特別支援学校との交流・協働」



■外部機関による CSR の評価

★全国信用金庫協会

- ・ちゅうしんNPOローンの創設：
信用金庫社会貢献賞／特別賞(平成14年)
- ・なら未来創造基金の創設：
地域再生しんきん運動優秀賞(平成17年)
- ・特別支援学校との交流・協働：
信用金庫社会貢献賞・会長賞(令和元年)

★奈良県地域温暖化防止活動推進センター

- ・ヒマラヤ桜の植樹：
地域環境貢献賞・匠の知恵(平成21年)

★近畿財務局

- ・ちゅうしん地域中小企業振興助成金制度：
地域密着型金融顕彰(平成21年)

★地域再生大賞実行委員会

- ・ちゅうしん地域中小企業振興助成金制度：
優秀賞(平成24年)

★奈良県

- ・社員・シャイン職場づくり推進企業：
総合表彰(平成25年)
- ・なら・みらい創造プロジェクト：
社会貢献活動に対する感謝状(※平成30年)

★奈良県社会福祉協議会

- ・チャリティーコンサート：
チャリティー募金に対する感謝状(※令和元年)

★橿原市社会福祉協議会

- ・チャリティーコンサート：
チャリティー募金に対する感謝状(令和元年)

★公益社団法人なら犯罪被害者支援センター

- ・チャリティーコンサート：
チャリティー募金に対する感謝状(※平成30年)

★株式会社日本金融通信社

- ・長年にわたる障がい者支援活動：
2016年度ニッキン賞(平成29年)

同じ事業で複数回受賞しているものは最新の年度を表示(※印)しています。